

令和5年6月23日

名古屋ブライダルビューティー専門学校

校長 塚本 紀之 殿

名古屋ブライダルビューティー専門学校 学校関係者評価報告書

学校関係者評価委員会

委員長 吹原 みき

令和5年度学校関係者評価について、下記の通り評価結果を報告します。

記

1. 日 時 令和5年6月20日（火）13時30分～15時00分

2. 場 所 名古屋ブライダルビューティー専門学校 502教室

3. 出席者 [委員4名]

吹原みき（教育知見者：愛知ウェディング協議会副代表理事）

伊藤亜紀子（業界：株式会社うたげ代表取締役社長）

小出由美子（保護者）

田崎優花（卒業生：TAIYO FLOWER）

※欠席：遠山奈七（業界：株式会社PLAN・DO・SEE）

[教職員3名（オブザーバー）]

校 長 塚本紀之

教務主任 近藤龍起

事務長 梅村浩司

4. 実施方法：

自己評価報告書（評価対象期間：令和4年度）を基に、各項目の説明と課題を聞き、質疑して再評価を行った。さらに、委員会後半は業界の「アフターコロナの取り組みや動向」についても時間が許す限り、意見を伺った。詳しくは議事録を参照のこと。各項目の評価は次の通りである。

学校関係者評価委員による評価

| 評価項目 | 評価 | 評価項目 | 評価 |
|-------------|----|----------------|----|
| (1) 教育理念・目標 | 4 | (6) 教育環境 | 3 |
| (2) 学校運営 | 4 | (7) 学生の受入れ募集 | 3 |
| (3) 教育活動 | 3 | (8) 財務 | 3 |
| (4) 学修成果 | 3 | (9) 法令等の遵守 | 4 |
| (5) 学生支援 | 3 | (10) 社会貢献・地域貢献 | 3 |

・適切：4、ほぼ適切：3、やや不適切：2、不適切：1

各評価項目について

1 教育理念・目標

- ・「建学の精神」を教室に掲げ、少人数制で丁寧な教育をしていることを理解した。直近3年間でカリキュラム変更や教育の目玉作りなどに力を入れており、より職業実践教育の質向上に努力している。

2 学校運営

- ・資格取得での実績向上、就職100%など教育はしっかり行われており、例年と同程度の成果との報告を受けた。学校側も満足はしておらず、今後の上乘せに期待したい。
- ・情報化については継続的な進展が必要であり、学校の努力は感じられた。

3 教育活動

- ・教員の学生指導は丁寧であり、成果が出ていると思う。
- ・教員研修が後回しになったと説明を受けた。業界も変化し、学生の質も変化する時代なので、教員研修が可能になることを願っている。

4 学修成果

- ・就職率や資格取得率では成果があったと報告を受けた。一方で2年生の退学者が増え、授業のやり方など見直しについても聞かせていただいた。学生の考えがますます多様化し、業界でも新人教育に苦慮する点が増えている。敬語や職業意識を身に付けさせる教育がしっかり学生に伝わることを期待している。

5 学生支援

- ・教員の手厚い指導に感心した。保護者や卒業生からも丁寧な指導に感謝する発言があった。卒業生への支援体制もあり、卒業後も相談しやすい雰囲気为学校にあると感じた。

6 教育環境

- ・限られた教育環境（施設・備品など）の中で産学連携を打ち出し、学校の特色としている。産業界の利用可能な部分をさらに探すとよい。私たちも専門学校には期待しており、応援もしたい。できないこともあるが、連携案を協力して検討したい。

7 学生の受入れ募集

- ・募集成果は不十分だったとの報告を受けたが、やるべきことはしっかりやっている印象を受けた。資格取得や就職実績なども悪くはないと思う。

8 財務

- ・単体では赤字と聞いたが、やるべきことはやっているため評価は3とした。

9 法令等の遵守

- ・特に問題ないと判断した。

10 社会貢献・地域貢献

- ・コロナで3年間は制限の多い活動だったと聞いた。本物挙式は、令和4年度から完全復活させたが、学生サロンは見送ったとのこと。本物に近い活動を通じて技術、責任感などを身に付けることは良い教育方法だと思う。

以上